

平成21年度 水と緑の森づくり事業 事業費の概要

1 富山県水と緑の森づくり基金積立額

352 百万円

内訳	水と緑の森づくり税収相当額	350 百万円
	寄附金、運用益	2 百万円

2 水と緑の森づくり事業費

当初予算額
371 百万円

実施額
332 百万円

県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善

I 水と緑の森づくり推進事業	2 百万円	1 百万円
----------------	-------	-------

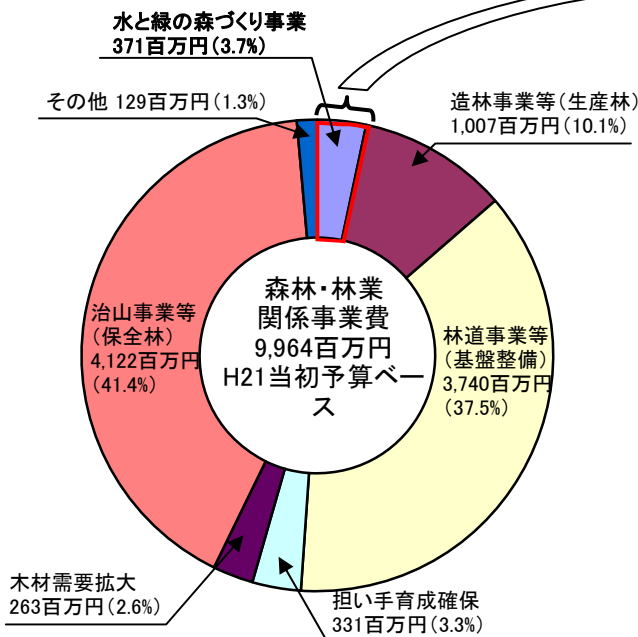
水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

II 里山再生整備事業	164 百万円	158 百万円
III みどりの森再生事業	123 百万円	109 百万円

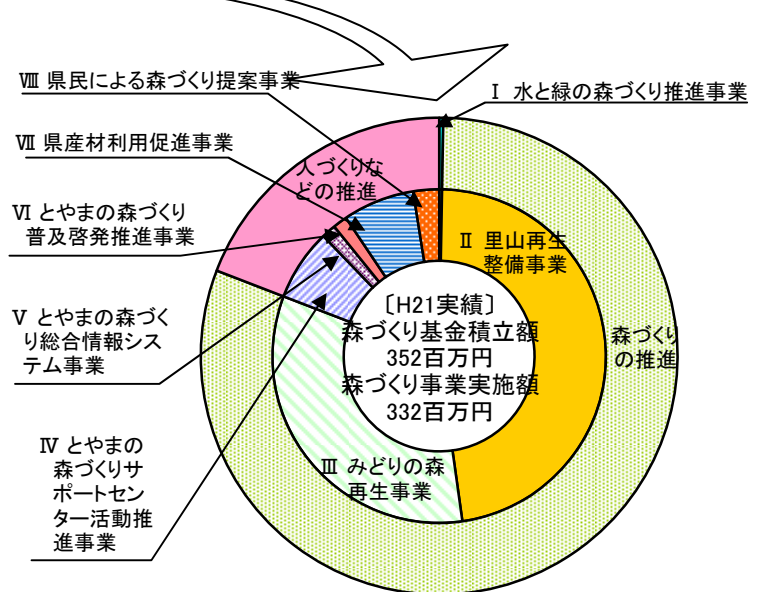
とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進

IV とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	25 百万円	23 百万円
V とやまの森づくり総合情報システム事業	5 百万円	5 百万円
VI とやまの森づくり普及啓発推進事業	4 百万円	4 百万円
VII 県産材利用促進事業	38 百万円	23 百万円
VIII 県民による森づくり提案事業	10 百万円	9 百万円

平成21年度富山県森林・林業関係事業費の内訳
(当初予算ベース)



平成21年度水と緑の森づくり事業費の内訳
(実績)



※事業費には森林整備・林業再生基金事業を含む

富山県森づくりプランにおける森づくり施策の目標と年度別実績等

○水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

里山林の整備

年度	H⑲実績	H⑳実績	H㉑実績	H㉒計画	H㉓目標
整備面積 (ha)	366	373	333	145	
延べ面積 (ha)	366	739	1,073	1,218	2,000

混交林の整備

整備面積 (ha)	61	74	132	214	
延べ面積 (ha)	61	135	268	482	2,000

○とやまの森を支える人づくりなどの推進

県民参加による森づくりの年間参加延べ人数

年度	H⑲実績	H⑳実績	H㉑実績	H㉒目標
参加人数(人)	6,920	10,033	10,999	7,000

—県民全体で支える森づくりの推進と森づくりの評価・改善—

I 水と緑の森づくり推進事業

○趣旨

県民全体で支えるとやまの森づくりを推進し、森づくりの計画、実行の改善のための評価を実施します。

○平成21年度事業の実績 実施額 1百万円

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

森づくり全般について、県内の各界の代表者や有識者から幅広く意見を伺いました。

第1回 平成21年4月22日

議題 平成20年度事業実施状況の報告
平成21年度の取り組みについて
県民による森づくり提案事業(県民実践活動事業)の審査

第2回 平成21年12月4日

議題 平成20年度事業の評価結果の報告
平成21年度事業の実施状況の報告
県民による森づくり提案事業(アイデア提案)の審査

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価をいただきました。

平成21年6月10日

内容 事業実施地の現地視察(富山市婦中町)
平成20年度の事業評価の実施
平成21年度の事業概要の報告

Ⅱ 里 山 再 生 整 備 事 業

○趣 旨

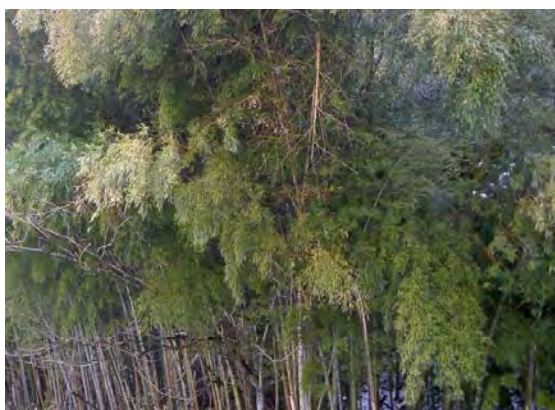
地域や生活に密着した里山を再生するため、里山の再生整備を県民協働で実施するとともに、カシノナガキクイムシ被害木の除去や竹資源の利用や竹林の整備を進めます。

○平成21年度事業の実績 実施額 158百万円

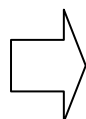
(1) 市町村による里山再生整備の実施

里山管理利用計画に基づく里山整備や地域住民による整備活動に支援を行いました。また、竹林を広葉樹林に転換するための整備にも取り組みました。

事業実施地区	121地区（14市町）
対象面積	1,073ha
事業主体	市町村



これまで放置され、人が入り込めないほどに密生してしまった竹林を伐採、整理しました。



整理後は、地区住民等の手によって再発生してくる竹を伐採・駆逐し、美しい広葉樹の森の再生を目指して管理していきます。

(2) カシノナガキクイムシ被害木の除去の実施

立ち枯れ状態にある被害木を除去し、防災および景観の保全を図りました。

事業実施地区	54地区（14市町）
除去量	3,370m ³
事業主体	市町村



民家裏山にある枯損木を除去しました。

(3) 里山活用推進事業 **《H21新規》**

竹林の適切な管理をすすめるため、里山再生整備事業を実施している地域住民等に竹林の管理や新たな利用方法の体験を行いました。

取組内容

- ・かぐや姫の里デビュー講座の開催（5月9日 121名参加）
穂先タケノコなど新たな利用方法の指導
- ・とやまの竹資源ネットワークの結成（3月末現在 55団体登録）
竹林所有者や竹資源利用団体などを結びつけ、技術講習や情報を提供
7月11日 結成式、第1回講習会（特別講演・情報提供）の開催。99名参加
10月24日 かぐや姫の里の集いで竹材回収車（かぐやの竹舟号）を初運行。
11月19日 高岡市山川地区、氷見市小竹地区で本格運行。
3月 6日 第2回講習会（講習・情報提供、関連企業との相談会）の開催。90名参加
- ・とやまの竹利用アイデアコンテストの実施（6月4日～8月10日 99点応募）
だれにでもできる竹の利用方法を普及するためアイデアを募集
- ・かぐや姫の里の集いの開催（10月24日 250名参加）
竹林の管理技術、竹材の利用方法などの体験やアイデアコンテストの表彰、穂先タケノコの試食など

事業主体 県



「かぐや姫の里デビュー講座」では、穂先タケノコの利用方法などを指導し、「初めて食べたがおいしい、試してみたい」や「タケノコを掘るより簡単」と言った感想が聞かれました。



「かぐや姫の里の集い」では、竹材の集材体験や製紙会社が竹材をパルプ原料として無償で各地から回収する「かぐやの竹舟号」の初運行テープカットを行いました。

○平成21年度事業の評価

評価対象：里山林整備の実施面積

評価方法：計画面積に対する進捗状況の評価

計画面積 平成23年度末（累計） 1,000ha

平成21年度末（累計） 600ha

平成21年度末の実施面積は1,073ha（進捗率107.3%）と、計画の600haを大きく上回り「達成」と評価されました。

Ⅲ みどりの森再生事業

○趣 旨

人工林の公益的機能の向上を図るため、風雪被害林や過密人工林などを、スギと広葉樹の混交林へと誘導するための森林整備を実施するとともに、県産の広葉樹苗を県民の協力を得て育成します。

○平成21年度事業の実績 実施額 109百万円

（1）風雪被害林・過密人工林の整理の実施

混交林化を促進するための伐採・整理とともに、広葉樹を植栽しました。

整備面積	132.2ha（12市町） （風雪被害林整理 30.5ha、過密人工林整理 101.7ha）
事業主体	県

平成21年度末累計整備面積 267.6ha（風雪被害林 107.3ha、過密人工林 160.3ha）

（2）県産広葉樹苗の育成等

県民の皆さんにドングリの「里親」となっていただき、針広混交林への誘導などに必要な苗木を育てています。

また、その苗を植樹するイベント「みどりの里親の集い」を開催しました。

- ・コナラ、クリ、コブシなど 30,000本を育成
- ・みどりの里親の集いの開催（11月7日、185名参加）

事業実施箇所	南砺市法林寺（南砺市立福光美術館裏）
取組内容	風雪被害林整理跡地にコナラ等約1,200本を植栽
事業主体	県（とやまの森づくりサポートセンターに委託）



台風の被害にあった森林も伐採・整理から2年が経過し、スギと広葉樹の混ざりあったみどり豊かな森に再生しつつあります。（高岡市福岡町上野 地内）



「みどりの里親の集い」では、参加者らは大きく育つように願いを込め、丁寧に作業をしていました。

○平成21年度事業の評価

評価対象：混交林整備の実施面積

評価方法：整備目標に対する進捗状況の評価

計画面積	平成23年度末（累計） 1,000ha
	平成21年度末（累計） 325ha

平成21年度末までの累計実施面積は267.6ha（進捗率26.8%）となりましたが、計画面積325haの80%以上の実績となったことから「ほぼ達成」と評価されました。

Ⅳ とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業

○趣 旨

県民参加による森づくりを推進するため、森林ボランティアの活動等を総合的・専門的に支援します。

○平成21年度事業の実績 実施額 23百万円

(1) 登録団体数等（平成22年3月末現在）

一般登録 : 67団体 3,633人
企業登録 : 37企業

(2) 県民参加による森づくり参加延べ人数

サポートセンター登録団体・個人	6,883 人
企業の森づくり（サポートセンター登録企業）	2,903 人
サポートセンター主催活動	523 人
里山再生整備事業（地域外からの参加者数）	690 人
合 計	10,999 人

(3) ボランティアの活動支援の実施

ヘルメットや草刈り鎌、伐採木竹を処理するチップパーなどの機材の貸出、活動経費や保険料の支援、森林作業技術等の向上のための「森づくり塾」の開催、自らプログラムの実施や企画・運営できるチーフの養成 など

(4) 体験ボランティアやボランティアのネットワーク化支援の実施

森づくりボランティアの集いや交流会の開催、飛越源流の森づくりへの参加、ボランティア交流サロンの管理 など

(5) PR活動の実施

登録団体が活動時に掲げる「のぼり旗」や「バッジ」の配布、登録団体やサポートセンターの活動をPRするパネルの展示 など



伐採木竹を処理するチップパーを貸し出しました。



「森づくり塾」では機械の操作実習や安全講習などを実施しました。



森林所有者との協定の締結など、ボランティア団体や企業の森づくり活動を積極的に支援しました。

○平成21年度事業の評価

評価対象：県内におけるボランティアの活動状況

評価方法：森づくり参加延べ人数の達成状況で評価

平成23年度末計画参加人数 6,000人

平成23年度末における計画人数6,000人に対し、平成21年度はそれを大きく上回る10,999人もの参加実績があったことから「達成」と評価されました。

V とやまの森づくり総合情報システム事業

〇趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、とやまの森の現状や森づくり活動に関する情報を県民の皆さんに提供します。

〇平成21年度事業の実績 実施額 5百万円

(1) 森林GISシステムの運用

平成19年度に整備した「森林GISシステム」により、森林情報の分析や里山再生整備事業などの実施区域を整理し、水と緑の森づくり事業の評価・公表に活用しています。

また、平成20年度に把握したスギ林・竹林の分布データを森林GISシステムに取り込み、提供可能な情報としました。

(2) とやまの森づくりホームページの公開

「とやまの森づくりホームページ」を公開し、森林GISシステムを用いて作成した、とやまの森に関する情報図や、水と緑の森づくり事業の情報をリアルタイムに紹介しています。

・平成21年度アクセス件数 9,041 件（平成22年3月31日現在）

URL <http://www.pref.toyama.jp/sections/1603/moridukuri/index.html>

とやまの森づくりホームページ

《トップページ》



《事業実施状況の情報（里山再生整備事業地）》



水と緑の森づくり事業の実施状況などについての情報発信を行っています。

〇平成21年度事業の評価

評価対象：森林GISデータの整備状況とその活用状況

評価方法：森づくり事業の評価・改善に向け、県民への情報提供に、森林GISデータをどのように活用したかを評価

- ・「森林GISシステム」により、森づくり事業地を地形図や航空写真上に表示し、森づくり事業の評価・改善に向けた基礎資料作成に活用しました。
- ・竹林位置情報の提供により、里山再生整備事業等の竹林整備計画の策定に活用しました。
- ・森林GISシステムを用いて作成した森づくり情報図等、水と緑の森づくり事業に関する情報を紹介する「とやまの森づくりホームページ」を公開し、広く県民へ情報提供を行いました。

以上のことから「達成」と評価されました。

Ⅵ とやまの森づくり普及啓発推進事業

○趣 旨

森づくりへの県民の理解を深め、県民参加を推進するため、出前講座や森林教室を開催します。

○平成21年度事業の実績 実施額 4百万円

(1) 「森の寺子屋」の開催

児童・生徒をはじめ、広く一般県民を対象に「森の寺子屋」を開催しました。

開催回数	85回	内訳	出前講座	51回	(参加人数 3,053人)
			森林教室	34回	(参加人数 2,278人)

(2) フォレストリーダーのスキルアップ

「森の寺子屋」の指導者となるフォレストリーダーのスキルアップを図るための研修会を実施しました。

スキルアップ研修の開催 2回 (第1回 平成22年2月28日、第2回 平成22年3月13日)

「森の寺子屋」実施状況



平成20年度に作成した「とやま森の教本」を活用して、とやまの森の働き等を解説しています。



里山再生整備事業で整備された里山林を散策しながら、里山林の姿等について解説しています。



カシノナガキクイムシによる被害木を観察し、放置された里山林の問題点等を解説しています。



「とやまの竹利用アイデアコンテスト」優秀作品の作成を指導し、身近に使える簡易な竹製品の普及を図っています。

○平成21年度事業の評価

評価対象：「森の寺子屋」の開催状況

評価方法：「森の寺子屋」実施状況で評価

児童・生徒をはじめ広く県民を対象として「森の寺子屋」を実施し、学校に対するアンケートの結果からも、概ね良好な意見が多かったことから、森づくりに関する理解を一層深めることができました。

以上のことから「達成」と評価されました。

Ⅶ 県産材利用促進事業

○趣 旨

とやまの森づくりにつながる県産材利用への県民の理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設等の木質化を進めます。

○平成21年度事業の実績 実施額 23百万円

(1) 県産材くつろ木事業

- ・ 県産スギで製作したベンチを公共施設等に設置しました。
公共施設 66基（65箇所） ・ 公共交通機関 14基（7箇所）
- ・ 企業協賛による県産材ベンチを1施設に5基設置しました。

(2) とやま木育推進事業 《H21新規》

- ・ 「木育」推進のために県産材遊具のデザインを募集し、そのデザインを基に試作品を製作しました。今後、県内児童福祉施設やイベント会場に貸出します。
応募アイデア数 133作品 うち 優秀賞 5作品を選定

(3) 県産材こどもの城づくり事業

- ・ 園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。
実施施設数 2施設（藤ノ木幼稚園、双葉保育園）

(4) 森に親しむ学び舎づくり事業

- ・ 小・中学校の学童・生徒用机天板を県産材天板に置換えました。
実施学校数 24校（魚津市2小学校 高岡市14小学校・8中学校）
- ・ 特別支援学校用机・椅子について開発しました。 《H21新規・アイデア提案》

(5) 木の香るまちづくり事業

- ・ 公共施設等の内装の木質化に支援をしました。
実施施設数 12施設
【富山市】 なごなるの家 鶯坂保育園所 どんぐり山共同保育園 富山YMCA 福祉の里ふくふく
【高岡市】 高岡里山交流センター
【滑川市】 デイサービスほがらか 同朋幼稚園 デイサービスほたるの里
【黒部市】 宇奈月地区交流センター 村椿コミュニティセンター 道の駅「うなづき」農産物特売所



とやま木育推進事業
(富山市 あさひ幼稚園)



木の香るまちづくり事業
(高岡市 里山交流センター)

○平成21年度事業の評価

評価対象 木製品設置施設等での県産材の評価

評価方法 施設管理者等（先生、生徒含む）のアンケートにより評価

各事業を実施した施設管理者や施設利用者等に対してアンケート調査を行った結果、設置した製品等に対する印象は大半が「大変良い」、「良い」と回答し、また、「ぬくもりを感じる」、「香りが良い」、「肌触りが良い」、「落ち着く」など木の持つ特徴を好意的に捉えた意見が多く、県産材の良さをPRできたと判断されることから、「達成」と評価されました。

Ⅷ 県民による森づくり提案事業

○趣 旨

県民参加の森づくりを進めるため、県民の皆さんが企画し、実践する森づくり事業への支援を行ないます。

また、水と緑の森づくり税を活用した事業のアイデアを募集し、水と緑の森づくり事業への反映を検討します。

○平成21年度事業の実績 実施額 9百万円

(1) 県民実践活動事業

県内で活動する団体・グループから事業提案を募集し、第1回富山県水と緑の森づくり会議（平成21年4月22日開催）で審査のうえ、支援を行ないました。

- ・ 実施件数 25件 参加延べ人数 5,055人



整理伐採した木材を利用して家具などの木製品を製作し、県民に県産材利用を呼びかけるイベントが開催されました。（県民で使おう、とやまの木実行委員会）



県内初のツリークライミング体験会が開催され、参加者は体験したことのない目線で森とのふれあいを楽しみました。（NPO森林総合支援センター）

(2) 県民からのアイデア提案

県民から事業アイデアを募集し、第2回富山県水と緑の森づくり会議（平成21年12月4日開催）で審査のうえ、事業への反映を検討しました。

- ・ 応募件数 13件 うち2件につき一部採用（森の寺子屋のメニュー拡充、広報活動の強化）

○平成21年度事業の評価

評価対象：県民実践活動事業の実行状況

評価方法：提案事業を総合的に評価

- ・ 平成21年度に新規に実施した団体は、実施25団体中13団体と半数以上を占め、森林ボランティア団体だけでなく地域の自治会や小学校のPTAなど多様な団体により実施され、森づくりの輪が広がりました。更に、延べ参加人数も5,055名と多くの県民の参加があり、広く森づくりへの理解が醸成されました。

- ・ アイデア提案については、県民意見を事業に反映することができました。

以上のことから「達成」と評価されました。